



双方向ネットワークシステム本格稼働 「キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」

21世紀の新たなキャンパスのあり方として、IT(情報技術)と融合したキャンパスが求められていますが、名古屋学院大学では今年度から学生・教員・事務局の間をコンピュータネットワークで結ぶ「キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」を本格稼働させています。このCCSでは、ネットワークを駆使して学生・教員・事務局の3者間でそれぞれ双方向にやりとりできるのが特徴です。

実用例として、事務局から学生への呼び出し情報や休講情報、就職情報などの事務連絡、学生からの履修登録やレポート提出、講義のアンケートの回答や教員への問い合わせ・質問などが行われています。教員も学生の成績入力にCCSを利用、学生個人へのメッセージの発信も可能。自宅からインターネットを通じて接続することもでき、大学に関するあらゆる情報をお互いに共有することができます。名古屋学院大学では、'96年から全学生にパソコンを配布しており、パソコンと大学教育の融合を考えたことがCCSの出発点となっています。このCCSはいわば大学の電子キャンパス化であるともいえ、学生個人の受講内容や成績のデータをもとに、一人一人に必要な情報をケアしながらやりとりができるのが特筆ものです。

学生に人気なのは、インターネット機能がある携帯電話からも接続できる点。スクールの時刻表を見たり、また携帯のメールアドレスを登録しておく、毎朝休講情報や事務局からの呼び出しメールが届く。全学生約4,300人のうち約3,800人が登録。CCS本格稼働から数カ月で早くも学生に浸透しはじめています。

このCCSは、学生・教員・事務局間のコミュニケーションの向上や教育支援まで視野に入れた、他大学に先駆けた全国的にも類のないシステムとして、現在、教育関係者から熱い注目を浴びています。

CCSG 最先端企業で評価され 最優秀賞を受賞

「キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」が、東海地区でも最先端を行く一流企業が参加している「Beacon IT ユーザ会」の第20回ユーザーサミットで、最優秀賞を受賞しました。

「学生・教員・事務局の3者を情報ネットワークで結ぶことにより、従来の対面教育・対面指導に加えて、時間と距離を超えた教育・指

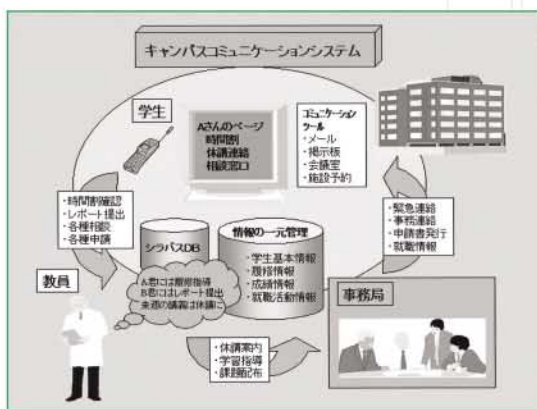
導ができる。学生にとっていかに楽に利用できる。必要な情報にアクセスできる」というCCS開発コンセプトが高い評価を受けました。

「Beacon IT ユーザ会」は、名古屋学院大学も参加しているADABAS/NATURAL(データベース)の日本販売元であるBeacon IT(ピーコン・アイティー・BIT)が事務局として活動しているユーザー会で、参加企業は341社。中部地区ではINAX、トヨタ自動車、トヨタ車体、豊田自動織機、中部電力、UFJ銀行、ヤマザキマザック、岡谷銅機、東邦ガス、日東工業ほか加盟しています。

文部科学省 「特色ある大学教育支援プログラム」に CCSなど本学の情報教育を申請

文部科学省は2003年度から教育に特化した大学を選定するため、「特色ある大学教育支援プログラム」事業を実施します。このプログラムは全国の国公私立(700余校)から100校しか選定されないことになっています。

名古屋学院大学は国際交流や社会人大学院、まちづくりなど特色のある教育を多く行っていますが、1校1件という制約の中で「情報教育」を選択しました。名古屋学院大学の全国的にも優れた情報教育の実績や、独自に開発し今年度から本格稼働させている「キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」を盛り込んだ内容で現在申請中です。



実力派ビジネスマンを育成 情報ビジネスコミュニケーション学科 本年度4月より商学部設置

名古屋学院大学はこの4月、商学部部に「情報ビジネスコミュニケーション学科(情報BC学科)」を設置しました。これにより3学部6学科の学部教育体制となります。

情報BC学科は、これまでの商学部の教育実績である基本的な商学、経営学その他に新たに国際社会、情報社会に対応した

専門知識を習得し、社会の多様なニーズに応えられる実践的かつ実務的な「実力」を身につけ、社会の中で「実力派ビジネスマン」として活躍できる人材の育成を目指しています。そのため、学生の希望により選択

できる2つのコースが用意されています。

●経営情報コース

商学と情報の両分野を学び、経営の知識やビジネス感覚を活かしてコンテンツや情報システムを開発するなど、即戦力の人材を育成します。

●ビジネスコミュニケーションコース

アジアや欧米におけるビジネス事情を学ぶとともに、日本とは異なる文化を理解できる視野と、ビジネスの最前線に役立つ外国語を習得。また、留学教育の導入も行っています。

